



Washington Japanese Language School

(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

2018 年 4 月 22 日発行 第 3 号

ワシントン日本語学校
校長 佐藤 良明

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

入園・入学おめでとう!

平成30年度(2018)の入園・入学式が先週、ご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛な中、温かな雰囲気で行なわれましたことを、心より感謝申し上げます。保護者の皆様には、待ちに待ったお子様のご入園・ご入学、誠におめでとうございます。

開校60周年という記念すべき節目の年に、入園・入学され、日本語学校での生活を始めました。子ども達のよりよい良い成長のためには、学校と家庭が信頼関係で結ばれることが必要です。お気づきの点や困ったことなど、遠慮なく学校にご相談下さい。

式典の中で、子ども達の学校生活が、楽しくなるよう3つの話をしました。

- ①日本語をたくさんお話ししましょう!
- ②休まずに元気で登校しましょう!
- ③お友達と仲良くしましょう!

週に1回だけの日本語での学校生活で、クラスの友達と仲良くし、勉強はもとより日本語学校でしか味わえない体験をたくさん積んでほしいと思います。

はや、3週目の授業日

新学期の緊張感を感じていた子ども達も、学級や担任・教科担任の先生とも慣れ、顔つきに余裕が見られるようになりました。全てのクラスで、新しい友達の輪が徐々に広がりはじめています。

小5・6中高の始業式時、「学校に来る一番の楽しみは何?」との質問に対して、「友達と遊んだり、話をしたりすること」が一番でした。

学校としては、友達の良いところを学び合い、切磋琢磨して日本語学校での学びをさらに高めていってほしいと願っています。

本校の子ども達には、母語が日本語、または英語という子がいて、日本語は得意だけれど英語が苦手という子、またその逆という子など、それぞれ日本語に対する考えや取り組みが、環境によって異なる集まりです。だからこそ、子ども社会の“いたわり”や“支え合い”の心を大切にしながら、子ども達の個性の芽をつぶさず、集団の中でたくましく生きる力を育てていきたいと思っています。



新入生入場

日本大使館総務統括公使
佐々山拓也様ご祝辞



4年生校歌披露

幼稚部・小学部1年担任紹介



さくらまつり 2018

○4月14日(土)「2018年度ワシントンさくらまつり」が、ペンシルベニア・アベニューのイベント会場で、盛大に開催されました。本校からは中学3年生が学校代表として、また、高校生が自主的に日米協会のボランティアとして参加しました。中学生は、授業で取り組んできた「あなたが日本親善大使に選ばれたら、世界の人にどんな日本のよさをアピールしますか」をテーマに、日本を8の地域10班に分けてスライドを使ってプレゼンをしました。

多くの人々が、日本語学校ブースを訪れ、生徒は日本語と英語を駆使し一生懸命に説明していました。

○ワシントン最大の日本人コミュニティである日本語学校の参加は、学校の存在を大きく感じる一日となりました。生徒にとっても地域貢献に大きな役割を果たすことにより、自分の置かれた立場を自覚し、日本と世界の架け橋になる人材に成長するステップになることを期待してやみません。

○天候にも恵まれ、事故なく無事に終了出来ましたのも保護者の皆様、保護者サポーターの皆様、そして運営委員会の皆様のご協力の賜と感謝いたします。誠にありがとうございました。



4月7日(土)

ウィラード
ホテルにて

ウィラード・ホテルで合唱しました。

○本校合唱隊有志による発表がありました。1学期始業日の7日の夕方、勉強の疲れも見せずに子ども達は、素晴らしい会場で元気に歌いました。



教職員研修会
○十五日、保護者であり日本で小児科医をされている幾瀬圭様にご指導をいただき、アレルギー対応の研修会を行いました。



在アメリカ合衆国日本国大使館特命全権大使 杉山晋輔様が、本校ブースを訪れ生徒の活躍をご覧になられました。